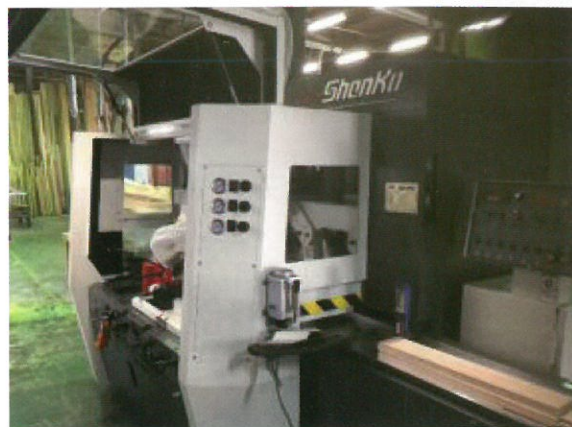




3D・CNCルーター



フラッシュプレス



4軸モルダー



レーザー加工機

CNCルーター、レーザー加工機などを設置

新型木工機械 5機種を導入

クボデラ(株) 首都圏サービスセンター (東京都中野区)

木材・建材販売事業、造作プレカット事業、神棚・上棟事業、住宅事業を行っているクボデラ(株)(東京都中野区)は12月7日、同社の首都圏サービスセンターに新規の加工機を5基設置。

「3D・CNCルーター」「レーザー加工機」「4軸モルダー」「フラッシュプレス」「ホゾ加工機」を導入。新規の設備投資によって木材加工の領域が拡大し、生産性の向上と残材の更なる有効活用が見込まれる。

同社は雲杉などの国内外の木材を取り扱う材木店。首都圏サービスセンターを中心に造作材のプレカット加工を行い、マルチホームで住宅事業も行うなど多角的な展開を行う。平成29年には東京証券取引所のTOYO PRO Marketへ株式上場し、同年首都圏サービスセンターJAS工場認定を取得している。

今回の設備投資により、これまでの造作材のプレカットから、さらに内装部材の加工にまで加工領域を広げていくことが

可能となる。

また、新型コロナウイルスの感染拡大にあたっては、飛沫対策の木質パーティションの提案にも力を入れており、同社の加工力を活かした製品開発の提案を更に推し進めていく。

今回の設備投資には、令和2年度の新型コロナウイルス感染症緊急対策設備投資支援事業(東京都)、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(埼玉県)が活用されている。設備投資額の合計は5000万円。



ホゾ加工機



9月よりドイツの木繊維断熱材「STEICO(シュタイコ)」国内代理店を務める



各加工機の特徴は以下の通り。

■3D・CNCルーター (株丸進機工社)

大型フラットテーブルによって複数枚の板を1回の工程で加工。5軸のユニバーサルヘッドが旋回し、3次元加工に対応する。ATC(オート・ツール・チェンジャー)がヘッドに装着する刃物を自動で交換し、最適な加工を選ぶことで効率の良い生産ができるようになっていた。

■レーザー加工機(飯田工業(株))

コンピュータ制御のCAD対応機種。最速で毎秒2000mmで木材表面の3次元加工を行う。木材表面のマーカ印字も自在。レーザー加工の深さは9mmまで対応している。

■4軸モルダー

(台湾・森科機械)

量産型の表面加工工程に対応。4面削りに加え、本格的な相しゃくり加工も行える。

■フラッシュプレス (小林機械工業(株))

合計4テーブルによる加圧で多数枚のパネル圧着が可能。加圧力が細かく設定できるため、加工するパネルの内容に適した精密な積層加工ができる。30ロットのプレス接着も1日で完了する。

■ホゾ加工機(駿河機工(株))

高速・高精度のホゾ加工を実現した専用加工機。従来の万能盤を使ったホゾ加工では、100台の生産に8時間を要したが、専用加工機の導入によって4倍速となる2時間で作業を完了できるようになった。

また、昨年9月から、(株)イケダコーポレーション(大阪市)が日本総代理店として輸入販売を開始したドイツの木繊維断熱材「STEICO(シュタイコ)」の国内代理店となり、在庫販売を開始。相模原販売所に在庫し、邸別配送を行うほか、最適寸法カットにも対応する。

(取材 古郡)